

新年のごあいさつ



秋田県商工会連合会
会長 村岡 淑郎

平成26年の年頭にあたり謹んで新年のお祝いを申し上げます。

我が国経済は政府が打ち出した、いわゆる「アベノミクス」により、これまでの長いデフレというトンネルからようやく抜け出し、明るい兆しが見えてきました。しかしながら、この効果は大企業や輸出関連の二部の企業にとどまっており、地方とりわけ秋田県の中小企業にとっては、その成果をいまだに実感できていないのが実態です。一日も早く国の隅々にまで「成長戦略」の成果が行きわたることを念願いたしております。

こうした中、政府は平成25年6月に「中小企業基本法」を改正し、小規模企業の存在意義を次の通り明確にしました。一つは地域における経済の安定及び地域住民の生活向上に小規模企業が大きく寄与していること。いまひとつは、創造的事業活動や新産業創出の面で我が国経済の発展にも寄与していること。これら二つのことは、小規模企業の振興なくして日本再生及び地域経済発展はないとの考え方を明確にしたことに他なりません。

この動きを受けて、今、国では「小規模企業基本法」制定の議論が盛んに行われており、早ければ次の通常国会に法案が

提案される予定であります。その中で商工会は「政府内に小規模企業政策審議会の設置」、「商工会の位置付けの明確化と機能強化」、「国・県・市町村の小規模企業振興に関する責務の明確化」などを具体的に提案しております。この基本的な法律が制定されれば、その後の各種政策において、小規模企業への支援はますます拡充されるものと期待しております。

また、時を同じくして秋田県におかれましても「秋田県中小企業振興条例」が検討されており、中小企業の自助努力を前提としつつ、オール秋田で中小企業の成長を後押しする具体的な指針を含んだ条例が制定されようとしております。

このように、国や県を挙げて、中小企業、とりわけ小規模企業に対する支援に、力を入れていただいていることに厚く感謝申し上げます。これらの法律や条例を中身のものとするために、商工会はその先頭に立ち、ますます、相談機能を強化し、力を発揮して行かなければならないと覚悟を新たにしているところであります。

具体的には、本連合会と県内21商工会で取り組んでいる「頑張る企業の育成」と「元気のある地域づくり」を2本柱とした活動を、さらに推進し、目に見える成果を生み出すことが重要であると考えております。

まず「頑張る企業の育成」では、経営指導員による日常的な巡回活動を通じて、経営課題に応じた解決策の提案や専門家派遣などを行うとともに、農業者への相談対応も積極的

年頭にあって



全国商工会連合会
会長 石澤 義文

新年明けましておめでとうございます。平成二十六年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、我が国経済は、政府が打ち出している各般の経済政策の効果により、先行きに明るい兆しが見え始めてきたものの、四月に迫った消費税率の引上げ、原材料価格の高騰など、中小・小規模企業が抱える不安材料は山積しており、特に、地方の小規模企業にとつては、景気回復の実感を得ているとは言えない、極めて厳しい状況が続いております。

こうしたなか、「小規模企業基本法制定決起大会」として、昨年十一月に開催した第五十三回商工会全国大会では、厳しい立場にある小規模企業への支援に特化した「小規模企業基本法」の早期制定を強く要望する決議を行いました。

小規模企業基本法の制定に向けては、全国の商工会員の皆様のご協力のもと、百万人署名運動を展開して参りましたが、今年はこの皆様の熱い思いを、基本法の早期制定や更なる支援施策の充実と結実させるべく邁進して参りたいと存じます。

また、今後、景気回復の動きを確かにし、日本経済が真に復活を遂げるには、まずもって、我が国全企業の八十七%を占め、これまで地域に密着し、地域の経済・社会・コミュニティを支えてきた小規模企業が元気にならなければなりません。

そのため、地域の中核的存在である商工会が、徹底した巡回訪問を通じ、常に新たな提案を行うことで、小規模企業に活力をもたらし、そして、地域を盛り上げていくことが、今まで以上に求められています。

地域と共に歩み、小規模企業を支

えているのは我々商工会です。

商工会が、全国津々浦々の地域に再び輝きを取り戻す「原動力」となるよう、引き続き、皆様の「層」のご活躍とご支援をお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並び関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

新年のごあいさつ



秋田県商工会青年部連合会
会長 佐藤 慶太

皆様あけましておめでとうございます。日頃より、皆様には青年部活動へのご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

私たち青年部では「目覚めと覚悟を持ち、地域発展の先駆者となれ すべては愛する秋田のために」をスローガンとして諸事業に取り組んでいます。

さて、昨年を振り返りますと、青年部と地域、青年部同士の絆を確認することを目的に全国の青年部員が統一実施する「絆・感謝運動」として県内全ての青年部でクリーンアップ活動を行ったほか、第四六回を迎えた県青連創立から続く伝統の「全県野球大会」の開催、ご当地グルメ及び地域を積極的にPRした全県商工会おもてなしまつり「イケめし」ゾーンへの出店など精力的に事業を実施してきました。さらに大きなニュースとして主張発表大会において本県代表の由利本荘市商工会青年部高橋秀彰さんが五年ぶりに東北北海道ブロック大会を勝ち抜き、二月に埼玉県で開催される全国大会への出場を果たす快挙を成し遂げました。高橋さんの全国制覇を祈念し、全県の青年部員の皆様の心強い応援をお願いします。

また、地域経済の発展や社会貢献のための事業の実施の際に、同じ目的のもとで活動している県内青